

序

厚生省心身障害研究班は、昭和61年度から新たに3年計画で、9研究班をもって発足した。本研究班はその一部門を構成するものである。研究課題及び分担研究者は以下に列記する通りである。

- 1) 不整脈の管理指針及び心術後の管理指針に関する研究

分担研究者 小佐野 満

- 2) 小児糖尿病における合併症早期診断基準の設定と合併症発症・促進因子の解析に関する研究

分担研究者 日比 逸郎

- 3) 小児慢性特定疾患における total care の役割とその具体的推進法

分担研究者 加藤 精彦

- 4) 小児の障害につながる傷病に関する研究

分担研究者 大国 真彦

- 5) 新生児外科的疾患に関する総合的研究

分担研究者 秋山 洋

- 6) 白血病児の生存の質に関する研究

分担研究者 植田 穰

- 7) 乳幼児突然死症候群 (SIDS) に関する研究

分担研究者 坂上 正道

- 8) 遺伝性疾患の発症予防に関する研究

分担研究者 松田 一郎

ここに昭和63年度の研究業績と3年間の研究の総括をまとめて報告する。研究が多岐にわたるので、全体の総括は省略し、各研究課題の総括をそれぞれの分担研究者に委ねた。これらの研究成果が、多くの医師によって利用され、我が国の小児の心身の健全な育成の一助となることを期待したい。

平成元年3月

小児期の主な健康障害要因に関する研究班
主任研究者 小佐野 満